

# 公立高等学校配置計画

(平成25年度～27年度)

平成 2 4 年 9 月

北海道教育委員会

# 目 次

## I 公立高等学校配置計画（平成25年度～27年度）策定の考え方

1 趣旨	1
2 中学校卒業者数の見込み	1
3 基本的考え方	1
4 配置計画（平成25年度～27年度）の概要	2
5 配置計画の変更	3

## II 公立高等学校配置計画（平成25年度～27年度）内容

1 中学校卒業者数	4
2 欠員の状況	4
3 定員及び中学校卒業者に対する割合	4
4 配置計画（平成25年度～27年度）の学校別内訳	5
5 中学校卒業者の推計及び推移	9

## III 公立高等学校配置計画（平成25年度～27年度）学区別個表

空知南学区	11
空知北学区	12
石狩学区	13
後志学区	15
胆振西学区	16
胆振東学区	17
日高学区	18
渡島学区	19
檜山学区	20
上川南学区	21
上川北学区	22
留萌学区	23
宗谷学区	24
オホーツク中学区	25
オホーツク東学区	26
オホーツク西学区	27
十勝学区	28
釧路学区	29
根室学区	30



# I 公立高等学校配置計画（平成25年度～27年度）策定の考え方

## 1 趣旨

「公立高等学校配置計画」（以下、「配置計画」という。）は、高等学校進学希望者数に見合った定員を確保することを基本として、中学校卒業者数（以下、「中卒者数」という。）の状況を踏まえ、生徒の多様な学習ニーズ、進路動向などに対応した学校・学科の配置や規模の適正化を図るために、平成25年度から平成27年度までの高校配置の計画を策定するとともに、平成28年度から平成31年度までの見通しを示したものである。

## 2 中学校卒業者数の見込み

本道の中卒者数は、平成25年に4万8,010人、平成26年に4万7,634人、平成27年に4万5,966人となる見込みであり、その後も総じて減少傾向にある。

## 3 基本的考え方

配置計画の策定に当たっては、平成18年に策定した「新たな高校教育に関する指針」（以下、「新たな指針」という。）に基づき、中卒者数の増減に適切に対応し、教育水準の維持向上などを行う観点から、地域の実情、私立高校の配置状況等を考慮しながら定員の調整や学校の再編整備等を行うとともに、都市部において複数の高校が設置されている場合、望ましい規模の学校についても、地域の実情などに応じて再編整備を実施する。

また、生徒の多様な学習ニーズに対応するため、次のとおり新しい高校づくり等を推進する。

### (1) 地域キャンパス校の導入

他の高校への通学が困難な地域を抱え、かつ地元からの進学率が高い（普通科はおよそ1/2、専門学科はおよそ1/4）第1学年1学級の高校を地域キャンパス校とし、センター校からの出張授業や通信機器を活用した教育活動への支援等により、教育環境の充実を図る。

### (2) 総合学科の設置

生徒の多様な能力・適性、興味・関心、進路希望等に応じて、普通教育と専門教育に関する多様な科目を選択して学ぶことができ、幅広い進路希望に対応が可能となる総合学科の設置を再編にあわせて進める。

### (3) 普通科単位制の導入

学年による教育課程の区分を設けず、高校の生徒が必ず学ばなければならない科目のほか、学校が開設した多数の選択科目の中から、興味・関心や進路希望等に応じて自分で科目を選択し、主体的な学習が可能となる単位制の導入を進める。

### (4) フィールド制の導入

普通科の特色づくりとして、まとまりのある分野の科目群をフィールドとして設定し、興味・関心や進路希望等に応じて自分でフィールドを選択して学習することが可能となるフィールド制の導入を進める。

### (5) 職業学科の学科転換

産業構造の変化や学科の配置状況、生徒の進路動向などを考慮し、職業学科の学科転換を図る。

#### (6) 産業キャンパスの活用

職業学科を含めた再編の際にあわせ、産業教育施設や実習地などを有効に活用するため、産業キャンパス化について検討する。

### 4 配置計画（平成25年度～27年度）の概要

昨年決定した平成25年度及び平成26年度の計画を一部変更するとともに、新たに平成27年度の配置計画を策定する。

#### (1) 学級定員

「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」に基づき、1学級の定員は40人とする。

#### (2) 平成25年度～26年度（平成23年度決定）高校配置計画の変更

##### 全日制課程

##### ア 学級増

平成24年度の入学者選抜の結果、第2次募集後の入学者に1学級相当以上の欠員が生じ、学級減を行った佐呂間高校、羅臼高校及び町立霧多布高校について、中卒者数の状況等を総合的に勘案し、平成25年度にそれぞれ1学級の増を行う。

また、女満別高校及び雄武高校について、中卒者数の状況等を総合的に勘案し、平成25年度にそれぞれ1学級の増を行う。

##### イ 普通科単位制の導入

留萌高校については、学区における学校・学科の配置状況や地域の要望などを総合的に勘案するとともに、今後の市内再編を円滑に実施するため、平成26年度に普通科単位制を導入する。

##### ウ 職業学科の学科転換

芦別高校については、学区における学校・学科の配置状況、生徒の進路動向や地域の要望などを総合的に勘案し、平成25年度に情報ビジネス科を普通科に学科転換する。

#### (3) 平成27年度高校配置計画

##### ア 全日制課程

##### (ア) 学級減

各学区ごとに、中卒者数を基礎として、生徒の進路動向や学校・学科の配置状況、各学校の在籍状況などを総合的に勘案し、11校で13学級の減を行う。

##### (イ) 普通科単位制の導入

音更高校については、生徒の多様な興味・関心や進路希望等に応じた主体的な学習が可能となるよう普通科単位制を導入する。

##### (ウ) 中高一貫教育校の新設

札幌市において、市立札幌開成高校を募集停止とし、中等教育学校を設置する。

## イ 定時制課程

帯広農業高校及び音更高校の昼間定時制課程については、近年、就農しながら学ぶ生徒や就農を目指す生徒が極めて少ないことから、学区における中卒者数の状況、学校・学科の配置状況や生徒の進路動向などを勘案し、募集停止とする。

## 5 配置計画の変更

配置計画を策定した後、急激な中卒者数の増減や生徒の進路動向に大きな変動が生じた場合など、通学区域における中学校卒業者の進路動向等を見極めて、毎年度再検討するほか、次の(1)～(3)に掲げる場合にあっては配置計画を変更することとする。

- (1) 入学者選抜における第2次募集の合格発表後、配置計画で示した募集人員に対し1学級相当以上の欠員が生じた場合。
- (2) 5月1日現在の第1学年の在籍者が新たな指針に示した人数要件に該当し、その後も生徒数の増が見込まれない場合。
- (3) 市町村立高校について、当該市町村において募集人員等の変更を行った場合。

## II 公立高等学校配置計画（平成25年度～27年度）内容

### 1 中学校卒業生数

平成24年（実績）	48,907人	（対前年比 129人増加）
平成25年（推計）	48,010人	（対前年比 897人減少）
平成26年（推計）	47,634人	（対前年比 376人減少）
平成27年（推計）	45,966人	（対前年比 1,668人減少）

### 2 欠員の状況

（平成24年5月1日現在）

公立高等学校全日制	公立高等学校定時制	私立高等学校	合計
2,431人（160人）	1,171人（102人）	1,712人（-574人）	5,314人（-312人）

※（ ）は対前年増減

### 3 定員及び中学校卒業生数に対する割合

区 分		公 立			高等専門学校	私立	計	
		全日制	定時制	中等教育学校				
平成 24 年度	定 員（人）	37,070	2,640	80	760	12,030	52,580	
	割 合（％）	75.8	5.4	0.2	1.6	24.6	107.5	
公立 高 等 学 校 配 置 計 画	平成 25 年度	学 級 増（人）	270	0	0	0	0	270
		学 級 減（人）	-160	0	0	0	-60	-220
		新 設（人）	320	0	0	0	0	320
		募集停止（人）	-640	0	0	0	0	-640
		差引増減（人）	-210	0	0	0	-60	-270
		定 員（人）	36,860	2,640	80	760	11,970	52,310
		割 合（％）	76.8	5.5	0.2	1.6	24.9	109.0
平成 26 年度	学 級 増（人）	0	0	0	0	0	0	
	学 級 減（人）	-280	-40	0	0	0	-320	
	新 設（人）	0	0	0	0	0	0	
	募集停止（人）	-40	0	0	0	0	-40	
	差引増減（人）	-320	-40	0	0	0	-360	
	定 員（人）	36,540	2,600	80	760	11,970	51,950	
	割 合（％）	76.7	5.5	0.2	1.6	25.1	109.1	
平成 27 年度	学 級 増（人）	0	0	0	0	0	0	
	学 級 減（人）	-520	0	0	0	0	-520	
	新 設（人）	0	0	160	0	0	160	
	募集停止（人）	-320	-80	0	0	0	-400	
	差引増減（人）	-840	-80	160	0	0	-760	
	定 員（人）	35,700	2,520	240	760	11,970	51,190	
	割 合（％）	77.7	5.5	0.5	1.7	26.0	111.4	

\* 1 高等専門学校の定員については、平成25年度分のみ決定済み。

\* 2 私立の定員については、平成25年度以降は見込みを記載。

\* 3 浜中町立霧多布高校は、平成23年度から、2学級60人定員としている。

#### 4 配置計画（平成25年度～27年度）の学校別内訳

##### ◎ 平成24年度入学者選抜における第2次募集後の学級減

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H24	空知北	道	芦 別	全	普 通	4	3	-1	5学級→4学級
		道	深川東	全	流通経済	2	1	-1	4学級→3学級
	後志	道	余市紅志	全	総 合	3	2	-1	3学級→2学級
	オホーツク中	道	佐呂間	全	普 通	2	1	-1	2学級→1学級
	十勝	道	池 田	全	総 合	3	2	-1	3学級→2学級
	釧路	町	霧多布	全	普 通	2	1	-1	2学級→1学級
	根室	道	羅 臼	全	普 通	2	1	-1	2学級→1学級
計			7校					-7 (-270)	

##### ◎ 平成25～27年度高校配置計画／全日制課程

###### (1) 学級増減

① 学級増(学校名の前の※印は、平成23年度に決定した配置計画からの変更。)

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H25	石 狩	道	札幌厚別	全	普 通	6	0	-6	6学級→7学級
		道	札幌あすかぜ	全	普 通	0	7	+7	7学級→8学級
	オホーツク中	道	※佐呂間	全	普 通	7	8	+1	7学級→8学級
	オホーツク東	道	※女満別	全	普 通	1	2	+1	1学級→2学級
	オホーツク西	道	※雄 武	全	普 通	1	2	+1	1学級→2学級
	釧路	町	※霧多布	全	普 通	1	2	+1	1学級→2学級
	根 室	道	※羅 臼	全	普 通	1	2	+1	1学級→2学級
	(小計)			7校					+7
H26	-								
H27	-								
計			7校					+7 (+270)	

###### (2) 学級減

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H25	胆振西	道	室蘭清水丘	全	普 通	5	4	-1	5学級→4学級
		道	虻 田	全	商 業	1	0	-1	2学級→1学級
	オホーツク中	道	北見緑陵	全	普 通	5	4	-1	5学級→4学級
	十勝	道	帯広緑陽	全	普 通	5	4	-1	5学級→4学級
	(小計)			4校					-4
H26	石 狩	道	大 麻	全	普 通	8	7	-1	8学級→7学級
		道	野 幌	全	普 通	8	7	-1	8学級→7学級
		道	恵庭北	全	普 通	8	7	-1	8学級→7学級
	後志	道	小樽潮陵	全	普 通	7	6	-1	7学級→6学級
	胆振東	道	苫小牧東	全	普 通	7	6	-1	7学級→6学級
	渡 島	道	函館稜北	全	普 通	4	3	-1	4学級→3学級
	釧路	道	白 糠	全	普 通	3	2	-1	3学級→2学級
(小計)			7校					-7	



実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学校)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H27	空知南	道	岩見沢東	全	普通	6	5	-1	6学級→5学級
	空知北	道	奈井江商業	全	商業	1	0	-1	2学級→1学級
	石 狩	道	札幌西陵	全	普通	8	7	-1	8学級→7学級
		道	札幌真栄	全	普通	6	4	-2	6学級→4学級
		道	札幌平岡	全	普通	8	6	-2	8学級→6学級
		道	千歳北陽	全	普通	8	7	-1	8学級→7学級
	日 高	道	富 川	全	商業	1	0	-1	2学級→1学級
	上川南	道	旭川凌雲	全	普通	5	4	-1	5学級→4学級
	オホーツク中	道	留 辺 薬	全	総合	2	1	-1	2学級→1学級
	釧 路	道	釧路商業	全	流通経済	2	1	-1	5学級→4学級
道		釧路東	全	普通	4	3	-1	4学級→3学級	
	(小計)		11校					-13	
	計		22校					-24 (-960)	

## (2) 再編整備

### ① 再編統合等

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学校)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H25	石 狩	道	札幌篠路(母体校)	全	普通	7	0	-7	7学級→0学級
		道	札幌拓北	全	普通	7	0	-7	7学級→0学級
		道	札幌北区新設校	全	普通	0	8	+8	0学級→8学級
	(小計)		再編に伴う募集校2校、再編統合による新設校1校					-6 (14学級の減、新設校で8学級の増)	
H26			-						
H27	石 狩	市	札幌開成	全	普通	6	0	-6	8学級→0学級
				全	コア・サテライト	2	0	-2	
		市	新設校(中等教育)	全	(検討中)	0	4	+4	0学級→4学級
	(小計)		再編等に伴う募集校1校、新設校1校					-4 (8学級の減、新設校で4学級の増)	
	計		再編等に伴う募集校3校 新設校2校					-10 (-400)	

\*再編に伴う新設校は(母体校)と表示した校舎を活用する。

### ② 募集停止

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学校)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H25	空知北	道	赤 平	全	普通	1	0	-1	1学級→0学級
	渡 島	道	戸 井	全	普通	1	0	-1	1学級→0学級
	(小計)		2校					-2	
H26	渡 島	道	熊 石	全	普通	1	0	-1	1学級→0学級
	(小計)		1校					-1	
H27			-						
	計		3校					-3 (-120)	

(3) 地域キャンパス校の導入

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数	センター校	備 考
H 2 5	釧 路	道	阿 寒	全	普 通	1	釧路湖陵	—
	(小計)		1校				1校	
H 2 6	—							
H 2 7	—							
計			1校				1校	

(4) 総合学科の設置（再掲）

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	募集学級数	備 考
H 2 5	石 狩	道	札 幌 厚 別	全	7	普通科から総合学科に転換
	(小計)		1校			
H 2 6	—					
H 2 7	—					
計			1校			

(5) 普通科単位制の導入（学校名の前の※印は、平成23年度に決定した配置計画からの変更。）

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	募集学級数	備 考
H 2 5	石 狩	道	札 幌 東 陵	全	8	札幌篠路・札幌拓北の再編
		道	札幌北区新設校	全	8	
	上 川 南	道	富 良 野	全	4	
	(小計)		3校			
H 2 6	留 萌	道	※留 萌	全	4	
	(小計)		1校			
H 2 7	十 勝	道	音 更	全	4	
	(小計)		1校			
計			5校			

(6) 中高一貫教育校の新設（再掲）

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	募集学級数	備 考
H 2 5	—					
H 2 6	—					
H 2 7	石 狩	市	新 設 校	全	4	札幌開成の改編、中等教育学校の設置
	(小計)		1校			
計			1校			

(7) 職業学科の学科転換（学校名の前の※印は、平成23年度に決定した配置計画からの変更。）

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	備 考
						実施前	実施後		
H 2 5	空 知 北	道	※芦 別	全	普 通	3	4	+1	
					情 報 〆 ズ 入	1	0	-1	
	(小計)		1校						
H 2 6	—								
H 2 7	—								
計			1校						

◎ 平成25～27年度高校配置計画／定時制課程

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課 程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	備 考
						実施前	実施後		
H25	-								
H26	上 川 南	道	旭 川 工 業	定	建 築	1	0	-1	
					土 木	1	0	-1	
					建築・土木科	0	1	+1	
	(小計)		1校					-1	
H27	十 勝	道	帯 広 農 業	定	農 業	1	0	-1	
		道	音 更	定	農 業	1	0	-1	
		(小計)		2校					-2
計			3校					-3 (-120)	

5 中学校卒業者の推計及び推移

中学校卒業者推計表（24年推計）

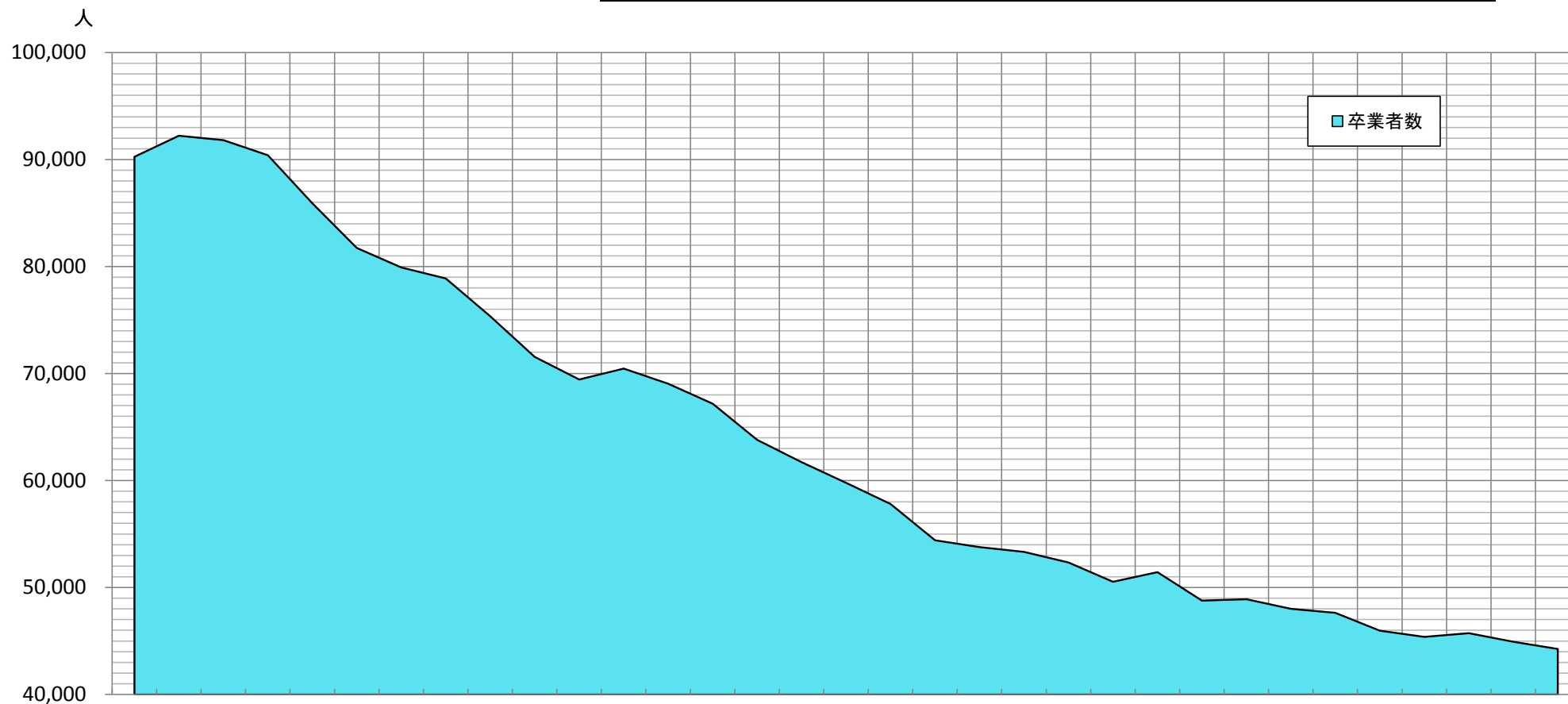
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
空知南	1,516	1,488 ▲ 28	1,499 +11	1,388 ▲ 111	1,305 ▲ 83	1,267 ▲ 38	1,287 +20	1,206 ▲ 81
空知北	1,229	1,212 ▲ 17	1,195 ▲ 17	1,180 ▲ 15	1,143 ▲ 37	1,148 +5	1,027 ▲ 121	1,001 ▲ 26
石 狩	20,911	20,742 ▲ 169	20,613 ▲ 129	19,944 ▲ 669	19,804 ▲ 140	20,062 +258	19,901 ▲ 161	19,793 ▲ 108
後 志	1,872	1,894 +22	1,800 ▲ 94	1,698 ▲ 102	1,676 ▲ 22	1,697 +21	1,659 ▲ 38	1,592 ▲ 67
胆 振 西	1,730	1,606 ▲ 124	1,623 +17	1,616 ▲ 7	1,549 ▲ 67	1,625 +76	1,576 ▲ 49	1,554 ▲ 22
胆 振 東	1,984	1,961 ▲ 23	1,884 ▲ 77	1,908 +24	1,825 ▲ 83	1,872 +47	1,888 +16	1,796 ▲ 92
日 高	696	686 ▲ 10	648 ▲ 38	580 ▲ 68	634 +54	605 ▲ 29	575 ▲ 30	529 ▲ 46
渡 島	3,835	3,780 ▲ 55	3,657 ▲ 123	3,612 ▲ 45	3,444 ▲ 168	3,346 ▲ 98	3,303 ▲ 43	3,271 ▲ 32
檜 山	364	343 ▲ 21	334 ▲ 9	307 ▲ 27	313 +6	307 ▲ 6	296 ▲ 11	296 ±0
上 川 南	3,947	3,851 ▲ 96	3,908 +57	3,900 ▲ 8	3,816 ▲ 84	3,950 +134	3,732 ▲ 218	3,787 +55
上 川 北	613	591 ▲ 22	591 ±0	530 ▲ 61	499 ▲ 31	561 +62	565 +4	504 ▲ 61
留 萌	407	421 +14	402 ▲ 19	366 ▲ 36	344 ▲ 22	347 +3	325 ▲ 22	352 +27
宗 谷	613	524 ▲ 89	542 +18	528 ▲ 14	544 +16	541 ▲ 3	575 +34	495 ▲ 80
オホーツク中	1,516	1,504 ▲ 12	1,430 ▲ 74	1,407 ▲ 23	1,360 ▲ 47	1,329 ▲ 31	1,363 +34	1,236 ▲ 127
オホーツク東	577	632 +55	588 ▲ 44	563 ▲ 25	592 +29	555 ▲ 37	564 +9	538 ▲ 26
オホーツク西	604	635 +31	607 ▲ 28	532 ▲ 75	569 +37	529 ▲ 40	504 ▲ 25	538 +34
十 勝	3,434	3,176 ▲ 258	3,433 +257	3,195 ▲ 238	3,197 +2	3,121 ▲ 76	3,073 ▲ 48	3,094 +21
釧 路	2,244	2,170 ▲ 74	2,120 ▲ 50	2,000 ▲ 120	2,033 +33	2,070 +37	1,986 ▲ 84	1,946 ▲ 40
根 室	815	794 ▲ 21	760 ▲ 34	712 ▲ 48	741 +29	801 +60	733 ▲ 68	730 ▲ 3
合 計	48,907	48,010 ▲ 897	47,634 ▲ 376	45,966 ▲ 1,668	45,388 ▲ 578	45,733 +345	44,932 ▲ 801	44,258 ▲ 674

※中学校卒業者数は、平成24年5月1日現在の小学校1年生から中学校3年生までの在籍児童・生徒数を基に、過去の社会的増減等を勘案した推計値。

※平成24年は実数、平成25年以降の上段は中卒者数、下段は前年比増減。

北海道における中学校卒業（見込）者の推移  
（昭和62年～平成31年）

(注) 1 昭和62年3月～平成24年3月は実卒業生数である。  
2 平成25年3月～平成31年3月は学校基本調査（平成24年5月1日現在）に  
準じた調査による在籍児童・生徒数を基に推計した。



年	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
卒業生数	90,257	92,222	91,810	90,400	85,909	81,733	79,911	78,884	75,348	71,550	69,441	70,462	69,047	67,180	63,800	61,714	59,783	57,804	54,415	53,778	53,330	52,339	50,537	51,437	48,778	48,907	48,010	47,634	45,966	45,388	45,733	44,932	44,258
増減	1,298	1,965	-412	-1,410	-4,491	-4,176	-1,822	-1,027	-3,536	-3,798	-2,109	1,021	-1,415	-1,867	-3,380	-2,086	-1,931	-1,979	-3,389	-637	-448	-991	-1,802	900	-2,659	129	-897	-376	-1,668	-578	345	-801	-674

### Ⅲ 公立高等学校配置計画（平成25年度～平成27年度）学区別個表

空知南学区高校配置計画										
区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	1,516	1,488	1,499	1,388	1,305	1,267	1,287	1,206	▲ 310	▲ 182
対前年増減		▲ 28	+ 11	▲ 111	▲ 83	▲ 38	+ 20	▲ 81		
岩見沢市中卒者数	( 789 )	( 768 )	( 806 )	( 724 )	( 701 )	( 690 )	( 714 )	( 680 )	▲ 109	▲ 44
対前年増減		▲ 21	+ 38	▲ 82	▲ 23	▲ 11	+ 24	▲ 34		
美唄市中卒者数	( 206 )	( 208 )	( 199 )	( 185 )	( 185 )	( 172 )	( 171 )	( 163 )	▲ 43	▲ 22
対前年増減		+ 2	▲ 9	▲ 14	± 0	▲ 13	▲ 1	▲ 8		
三笠市中卒者数	( 57 )	( 69 )	( 62 )	( 48 )	( 48 )	( 52 )	( 45 )	( 57 )	± 0	+ 9
対前年増減		+ 12	▲ 7	▲ 14	± 0	+ 4	▲ 7	+ 12		
夕張市中卒者数	( 62 )	( 58 )	( 52 )	( 67 )	( 41 )	( 41 )	( 42 )	( 35 )	▲ 27	▲ 32
対前年増減		▲ 4	▲ 6	+ 15	▲ 26	± 0	+ 1	▲ 7		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
岩見沢東	6		6	-2			普▲1	○4年間で4～5学級相当の調整が必要		
単 岩見沢西	4		4	1				○欠員の状況やこれまでの調整を踏まえた定員調整の検討が必要		
岩見沢農業		農 7	7	27				○小規模校において、中卒者数や欠員の状況を勘案し、学級減や再編整備を含めて配置のあり方の検討が必要		
*岩見沢緑陵	4	商 2	6	-2				○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については地域キャンパス校化の検討が必要		
総 美唄尚米	4		4	30						
美唄聖華		看 2	2	0						
*三 笠		家 1	1	0						
月 形	2		2	23						
夕 張	2		2	26						
長 沼	2		2	3						
栗 山	3		3	27						
南 幌	2		2	12						
12校	29	12	41	145			普▲1			

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。(以下同)

注2 学校名の「単」は全日制普通科単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「中等」は中等教育学校、「地」は地域キャンパス校、「産」は産業キャンパス。(以下同)

注3 学校名の\*は市町村立学校。(以下同)

注4 ( ) は定時制課程(計欄には含まない、関係学校のみ表示)。(以下同)

注5 平成24年度募集学級数の「→」表示は、第2次募集後の学級減を実施したことを示す。(以下同)

注6 「平成28～31年度までの見通し」欄の学級数の調整については平成31年度と平成27年度の中卒者数の比較により算出。(以下同)

### 空知北学区高校配置計画

区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27	
学区内中卒者数	1,229	1,212	1,195	1,180	1,143	1,148	1,027	1,001	▲ 228	▲ 179	
対前年増減		▲ 17	▲ 17	▲ 15	▲ 37	+ 5	▲ 121	▲ 26			
滝川市中卒者数	( 387 )	( 360 )	( 367 )	( 355 )	( 345 )	( 349 )	( 316 )	( 321 )	▲ 66	▲ 34	
対前年増減		▲ 27	+ 7	▲ 12	▲ 10	+ 4	▲ 33	+ 5			
砂川市中卒者数	( 149 )	( 148 )	( 175 )	( 155 )	( 165 )	( 165 )	( 147 )	( 142 )	▲ 7	▲ 13	
対前年増減		▲ 1	+ 27	▲ 20	+ 10	± 0	▲ 18	▲ 5			
歌志内市中卒者数	( 25 )	( 23 )	( 26 )	( 21 )	( 21 )	( 32 )	( 21 )	( 17 )	▲ 8	▲ 4	
対前年増減		▲ 2	+ 3	▲ 5	± 0	+ 11	▲ 11	▲ 4			
芦別市中卒者数	( 118 )	( 114 )	( 118 )	( 126 )	( 97 )	( 102 )	( 90 )	( 79 )	▲ 39	▲ 47	
対前年増減		▲ 4	+ 4	+ 8	▲ 29	+ 5	▲ 12	▲ 11			
赤平市中卒者数	( 80 )	( 78 )	( 83 )	( 77 )	( 84 )	( 88 )	( 77 )	( 61 )	▲ 19	▲ 16	
対前年増減		▲ 2	+ 5	▲ 6	+ 7	+ 4	▲ 11	▲ 16			
深川市中卒者数	( 174 )	( 192 )	( 156 )	( 163 )	( 163 )	( 168 )	( 140 )	( 165 )	▲ 9	+ 2	
対前年増減		+ 18	▲ 36	+ 7	± 0	+ 5	▲ 28	+ 25			
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数 普通 職業 計			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要	
滝 川	6		6	1				○4年間で4～5学級相当の調整が必要 ○欠員の状況やこれまでの調整を踏まえた定員調整の検討が必要 ○滝川市内において、市立高校を含めた定員調整の検討が必要 ○職業科、特に商業科の配置のあり方について検討が必要 ○欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要 ○小規模校において、中卒者数や欠員の状況を勘案し、学級減や再編整備を含めて配置のあり方の検討が必要			
滝川工業		工 2	2	7							
*滝川西	3	商 4	7	16							
単 砂 川	4		4	32							
奈井江商業		商 2	2	55			商▲1				
新十津川農業		農 1	1	5							
芦 別	4→3	商 1	4	39	商▲1 普+1 (計画変更)						H24二次募集後学級減
赤 平	1		1	26	普▲1						
深川西	4		4	16							
深川東		農・商 4→3	3	47							H24二次募集後学級減
10校	22 →21	14 →13	34	244	商▲1 普+1、普▲1		商▲1				

### 石狩学区高校配置計画

石狩学区高校配置計画										
	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
石狩学区中卒者数	20,911	20,742	20,613	19,944	19,804	20,062	19,901	19,793	▲ 1,118	▲ 151
対前年増減		▲ 169	▲ 129	▲ 669	▲ 140	+ 258	▲ 161	▲ 108		
札幌市中卒者数	( 16,376 )	( 16,178 )	( 16,190 )	( 15,701 )	( 15,514 )	( 15,816 )	( 15,726 )	( 15,595 )	▲ 781	▲ 106
対前年増減		▲ 198	+ 12	▲ 489	▲ 187	+ 302	▲ 90	▲ 131		
江別市中卒者数	( 1,409 )	( 1,398 )	( 1,265 )	( 1,324 )	( 1,264 )	( 1,212 )	( 1,202 )	( 1,198 )	▲ 211	▲ 126
対前年増減		▲ 11	▲ 133	+ 59	▲ 60	▲ 52	▲ 10	▲ 4		
千歳市中卒者数	( 910 )	( 929 )	( 957 )	( 865 )	( 870 )	( 893 )	( 933 )	( 886 )	▲ 24	+ 21
対前年増減		+ 19	+ 28	▲ 92	+ 5	+ 23	+ 40	▲ 47		
恵庭市中卒者数	( 728 )	( 756 )	( 673 )	( 645 )	( 708 )	( 666 )	( 662 )	( 662 )	▲ 66	+ 17
対前年増減		+ 28	▲ 83	▲ 28	+ 63	▲ 42	▲ 4	± 0		
北広島市中卒者数	( 692 )	( 648 )	( 711 )	( 693 )	( 663 )	( 713 )	( 658 )	( 703 )	+ 11	+ 10
対前年増減		▲ 44	+ 63	▲ 18	▲ 30	+ 50	▲ 55	+ 45		
石狩市中卒者数	( 554 )	( 591 )	( 589 )	( 513 )	( 601 )	( 580 )	( 545 )	( 592 )	+ 38	+ 79
対前年増減		+ 37	▲ 2	▲ 76	+ 88	▲ 21	▲ 35	+ 47		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
札幌東	8		8	-1				○4年間で2～3学級相当の調整が必要 ○各市町村ごとの中卒者数の状況、これまでの定員調整の状況、欠員の状況などについて考慮した定員調整の検討が必要 ○札幌市内については、中卒者数の減にあわせて生徒急増期に新設した高校を中心に再編に向けた検討が必要		
札幌西	8		8	-3						
札幌南	8		8	-1						
札幌北	8		8	0						
札幌月寒	8		8	-2						
札幌啓成	8		8	-2						
札幌北陵	8		8	-1						
単 札幌手稲	8		8	-1						
フ 札幌丘珠	8		8	1						
札幌西陵	8		8	-1			普▲1			
単 札幌白石	8		8	-2						
札幌東陵	8		8	0	普通科単位制導入					
札幌南陵	6		6	-1						
札幌東豊	8		8	2						
札幌厚別	6		6	-3	普▲6 総合学科設置 総+7					
札幌真栄	6		6	0			普▲2			
フ 札幌あすかぜ	7		7	1	普+1					
札幌稲雲	7		7	0						
フ 札幌平岡	8		8	0			普▲2			
札幌篠路	7		7	0	普▲7			母体校		
札幌拓北	7		7	0	普▲7					
新設校					普+8 普通科単位制導入					



学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し	摘要
	普通	職業	計						
単 札幌白陵	4		4	0					
札幌国際情報	4	工・商 4	8	-1					
江 別	5	商・家 3	8	0					
フ 野 幌	8		8	2		普▲1			
単 大 麻	8		8	0		普▲1			
千 歳	7	商 2	9	3					
フ 千歳北陽	8		8	38			普▲1		
単 北 広 島	8		8	-1					
北広島西	8		8	0					
石 狩 南	8		8	1					
当 別	3	農・家 2	5	0					
恵 庭 南	8		8	41					
恵 庭 北	8		8	14		普▲1			
札幌工業		工 8	8	-2					
札幌琴似工業		工 8	8	0					
札幌東商業		商 8	8	0					
総 石狩翔陽	8		8	-1					
単 *札幌旭丘	8		8	-1					
*札幌藻岩	8		8	-2					
*札幌平岸	8		8	-2					
*札幌清田	8		8	0					
*札幌開成	8		8	-1			普▲8		
新 設 校							+ 4 (学科検討中)		中等教育学校設置
*札幌新川	8		8	-1					
*札幌啓北商業		商 6	6	0					
45校	301	41	342	73	普▲20 普+9、総+7	普▲3	普▲14 (学科検討中) + 4		

### 後志学区高校配置計画

区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	1,872	1,894	1,800	1,698	1,676	1,697	1,659	1,592	▲ 280	▲ 106
対前年増減		+ 22	▲ 94	▲ 102	▲ 22	+ 21	▲ 38	▲ 67		
小樽市中卒者数	( 993 )	( 1,046 )	( 969 )	( 930 )	( 914 )	( 896 )	( 919 )	( 866 )	▲ 127	▲ 64
対前年増減		+ 53	▲ 77	▲ 39	▲ 16	▲ 18	+ 23	▲ 53		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
小樽潮陵	7		7	-2		普▲1			○4年間で1～2学級相当の調整が必要 ○欠員の状況やこれまでの調整を踏まえた定員調整の検討が必要 ○小樽市内の再編について、職業学科の配置のあり方を含めた早急な検討が必要 ○小規模校において、中卒者数や欠員の状況を勘案し、学級減や再編整備を含めて配置のあり方の検討が必要 ○「新たな高校教育に関する指針」に基づき昼間定時制のあり方について検討が必要 ○地域キャンパス校について、5月1日現在の第1学年の在籍者が20人未満となり、その後も生徒数の増が見込まれない場合は再編整備の検討が必要	
単 小樽桜陽	6		6	-1						
小樽商業		商 3	3	0						
小樽工業		工 3	3	0						
小樽水産		水 4	4	-1						
総 余市紅志	3→2		2	29						H24二次募集後学級減
岩 内	3	商 1	4	4						寿都のセンター校
地 寿 都	1		1	11						
共 和	1		1	23						
単 倶 知 安	4		4	8						蘭越のセンター校
地 蘭 越	1		1	21						
倶知安農業		農 1	1	0						
12校	26→ 25	12	37	92		普▲1				

胆振西学区高校配置計画

区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	1,730	1,606	1,623	1,616	1,549	1,625	1,576	1,554	▲ 176	▲ 62
対前年度増減		▲ 124	+ 17	▲ 7	▲ 67	+ 76	▲ 49	▲ 22		
室蘭市中卒者数	( 735 )	( 700 )	( 726 )	( 702 )	( 675 )	( 723 )	( 706 )	( 683 )	▲ 52	▲ 19
対前年度増減		▲ 35	+ 26	▲ 24	▲ 27	+ 48	▲ 17	▲ 23		
登別市中卒者数	( 496 )	( 489 )	( 471 )	( 454 )	( 454 )	( 482 )	( 438 )	( 496 )	± 0	+ 42
対前年度増減		▲ 7	▲ 18	▲ 17	± 0	+ 28	▲ 44	+ 58		
伊達市中卒者数	( 339 )	( 304 )	( 293 )	( 318 )	( 300 )	( 297 )	( 296 )	( 281 )	▲ 58	▲ 37
対前年度増減		▲ 35	▲ 11	+ 25	▲ 18	▲ 3	▲ 1	▲ 15		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計	H24 欠員						
室 蘭 栄	6		6	0				○4年間で1～2学級相当の調整が必要 ○欠員の状況や地元の進学状況を考慮し、伊達市内及び周辺町における再編を含めた定員調整の検討が必要		
単 室蘭清水丘	5		5	0	普▲1					
総 室蘭東翔	5		5	1						
室蘭工業		工 5	5	2						
登別青嶺	4		4	-1						
中 登別明日	2		2	2						
伊 達	4		4	11						
伊達緑丘	4		4	2						
虻 田		商 2	2	41	商▲1					
*洞 爺		家 1	1	27						
*壮 瞥		農 1	1	23						
11校	30	9	39	108	普▲1、商▲1					

### 胆振東学区高校配置計画

区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	1,984	1,961	1,884	1,908	1,825	1,872	1,888	1,796	▲ 188	▲ 112
対前年度増減		▲ 23	▲ 77	+ 24	▲ 83	+ 47	+ 16	▲ 92		
苫小牧市中卒者数	( 1,613 )	( 1,581 )	( 1,535 )	( 1,578 )	( 1,498 )	( 1,584 )	( 1,589 )	( 1,515 )	▲ 98	▲ 63
対前年度増減		▲ 32	▲ 46	+ 43	▲ 80	+ 86	+ 5	▲ 74		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し	摘要	
学校名	普通	職業	計					○4年間で1～2学級相当の調整が必要 ○小規模校において、中卒者数や欠員の状況を勘案し、学級減や再編整備を含めて配置のあり方の検討が必要 ○地域キャンパス校について、5月1日現在の第1学年の在籍者が20人未満となり、その後も生徒数の増が見込まれない場合は、再編整備の検討が必要	厚真のセンター校  穂別のセンター校	
苫小牧東	7		7	-1						
苫小牧西	4		4	0						
単 苫小牧南	5		5	-1						
苫小牧工業		工 6	6	0						
苫小牧総合経済		商 4	4	0						
白 老 東	3		3	1						
地 厚 真	1		1	5						
地 穂 別	1		1	24						
追 分	1		1	2						
中高 鶴 川	2		2	2						
10校	24	10	34	32					普▲1	

### 日高学区高校配置計画

日高学区高校配置計画										
区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	696	686	648	580	634	605	575	529	▲ 167	▲ 51
対前年度増減		▲ 10	▲ 38	▲ 68	+ 54	▲ 29	▲ 30	▲ 46		
浦河町中卒者数	( 124 )	( 134 )	( 125 )	( 132 )	( 125 )	( 97 )	( 110 )	( 89 )	▲ 35	▲ 43
対前年増減		+ 10	▲ 9	+ 7	▲ 7	▲ 28	+ 13	▲ 21		
学校名	平成24年度の状況			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し	摘要	
	学科及び募集学級数	計								
	普通	職業	計							
単 静 内	5		5	1				○4年間で1～2学級相当の調整が必要	平取のセンター校	
静内農業		農 2	2	0						
富 川	1	商 1	2	46			商▲1			
地 平 取	1		1	14						
総 浦 河	4		4	6						
中高 *えりも	2		2	37						
6校	13	3	16	104			商▲1			

### 渡島学区高校配置計画

渡島学区高校配置計画										
区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	3,835	3,780	3,657	3,612	3,444	3,346	3,303	3,271	▲ 564	▲ 341
対前年増減		▲ 55	▲ 123	▲ 45	▲ 168	▲ 98	▲ 43	▲ 32		
函館市中卒者数	( 2,370 )	( 2,406 )	( 2,282 )	( 2,315 )	( 2,199 )	( 2,161 )	( 2,088 )	( 2,082 )	▲ 288	▲ 233
対前年増減		+ 36	▲ 124	+ 33	▲ 116	▲ 38	▲ 73	▲ 6		
北斗市中卒者数	( 539 )	( 509 )	( 521 )	( 492 )	( 463 )	( 461 )	( 488 )	( 473 )	▲ 66	▲ 19
対前年増減		▲ 30	+ 12	▲ 29	▲ 29	▲ 2	+ 27	▲ 15		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
函館中部	6		6	1				○4年間で5～6学級相当の調整が必要	南茅部のセンター校	
函 館 西	4		4	-1				○欠員の状況やこれまでの調整を踏まえた定員調整の検討が必要		
函館稜北	4		4	1		普▲1		○函館市内の再編について、新しいタイプの高校の設置を含めた早急な検討が必要		
単 *市立函館	8		8	5				○小規模校において、中卒者数や欠員の状況を勘案し、学級減や再編整備を含めて配置のあり方の検討が必要		
函館水産	水 4		4	-1				○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については地域キャンパス校化の検討が必要		
函館商業	商 5		5	0				○定時制課程の配置のあり方について検討が必要	福島商業のセンター校	
函館工業	工 6		6	0						
戸 井	1		1	19	普▲1					
地 南茅部	1		1	13						
上 磯	2		2	1						
七 飯	3		3	-1						
大野農業	農 4		4	20						
松 前	2		2	24						
*知内	2		2	20						
地 福島商業	商 1		1	13						
八 雲	3 商 1		4	64					熊石のセンター校	
地 熊 石	1		1	37		普▲1				
総 森	4		4	19						
長万部	1		1	5						
19校	42	21	63	239	普▲1	普▲2				

### 檜山学区高校配置計画

区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	364	343	334	307	313	307	296	296	▲ 68	▲ 11
対前年増減		▲ 21	▲ 9	▲ 27	+ 6	▲ 6	▲ 11	± 0		
江差町中卒者数	( 83 )	( 76 )	( 60 )	( 55 )	( 55 )	( 61 )	( 67 )	( 46 )	▲ 37	▲ 9
対前年増減		▲ 7	▲ 16	▲ 5	± 0	+ 6	+ 6	▲ 21		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計					○4年間で0～1学級相当の調整が必要 ○地理的状况から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については地域キャンパス校化の検討が必要		
単 江 差	3		3	5						
上ノ国	1		1	15						
総 檜 山 北	3		3	16						
奥 尻	1		1	19						
4校	8	0	8	55						

上川南学区高校配置計画

区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	3,947	3,851	3,908	3,900	3,816	3,950	3,732	3,787	▲ 160	▲ 113
対前年度増減		▲ 96	+ 57	▲ 8	▲ 84	+ 134	▲ 218	+ 55		
旭川市中卒者数	( 2,948 )	( 2,900 )	( 2,999 )	( 2,892 )	( 2,871 )	( 3,009 )	( 2,778 )	( 2,918 )	▲ 30	+ 26
対前年度増減		▲ 48	+ 99	▲ 107	▲ 21	+ 138	▲ 231	+ 140		
富良野市中卒者数	( 238 )	( 219 )	( 244 )	( 234 )	( 217 )	( 222 )	( 235 )	( 186 )	▲ 52	▲ 48
対前年度増減		▲ 19	+ 25	▲ 10	▲ 17	+ 5	+ 13	▲ 49		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
旭川東	7		7	-1				○4年間で1～2学級相当の調整が必要 ○旭川市における進学状況やこれまでの定員調整の状況などを考慮し、旭川市内の再編及び周辺町における定員調整の早急な検討が必要 ○小規模校において、中卒者数や欠員の状況を勘案し、学級減や再編整備を含めて配置のあり方の検討が必要		
旭川西	6		6	-1						
単 旭川北	6		6	0						
総 旭川南	6		6	-2						
旭川凌雲	5		5	0			普▲1			
旭川東栄	4		4	0						
旭川商業		商 6	6	0						
旭川工業		工 7	7	0						
(旭川工業)		(工3)	(3)	-		[ 工▲1 学科転換 ]				
旭川農業		農 4	4	-3						
鷹 栖	1		1	-1						
東 川	2		2	0						
美 瑛	2		2	2						
中 上 川	2		2	32						
富 良 野	4		4	20	普通科単位制導入					
富良野緑峰		農 工 商 4	4	4						
上富良野	1		1	10						
*南富良野	1		1	17						
17校	47	21	68	77		[ 工▲1 学科転換 ]	普▲1			



上川北学区高校配置計画

区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	613	591	591	530	499	561	565	504	▲ 109	▲ 26
対前年度増減		▲ 22	± 0	▲ 61	▲ 31	+ 62	+ 4	▲ 61		
土別市中卒者数	( 211 )	( 204 )	( 179 )	( 193 )	( 164 )	( 179 )	( 179 )	( 156 )	▲ 55	▲ 37
対前年度増減		▲ 7	▲ 25	+ 14	▲ 29	+ 15	± 0	▲ 23		
名寄市中卒者数	( 245 )	( 239 )	( 250 )	( 199 )	( 220 )	( 240 )	( 257 )	( 223 )	▲ 22	+ 24
対前年度増減		▲ 6	+ 11	▲ 51	+ 21	+ 20	+ 17	▲ 34		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計	H24 欠員						
士別翔雲	4	商 1	5	29				○4年間で0～1学級相当の調整が必要 ○欠員が40人以上生じている学校について 学科の見直しや定員調整などについて検討 が必要	下川商業のセンター校	
地 下川商業		商 1	1	7						
名 寄	4		4	0					美深のセンター校	
地 美 深	1		1	9						
産 名寄産業		工 農 家 4	4	64						
総 *剣 淵	1		1	8						
*おといねっぶ 美術工芸	1		1	0						
7校	11	6	17	117						

### 留萌学区高校配置計画

留萌学区高校配置計画										
区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	407	421	402	366	344	347	325	352	▲ 55	▲ 14
対前年度増減		+ 14	▲ 19	▲ 36	▲ 22	+ 3	▲ 22	+ 27		
留萌市中卒者数	( 194 )	( 191 )	( 182 )	( 165 )	( 161 )	( 158 )	( 128 )	( 152 )	▲ 42	▲ 13
対前年度増減		▲ 3	▲ 9	▲ 17	▲ 4	▲ 3	▲ 30	+ 24		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
留 萌	4		4	5		普通科単位制導入 (計画変更)		○4年間で0～1学級相当の調整が必要 ○留萌市内において、再編の検討が必要 ○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については地域キャンパス校化の検討が必要		苫前商業のセンター校
留萌千望		商・ 工 2	2	6						
羽 幌	2		2	30						
地 苫前商業		商 1	1	17						
天 塩	2		2	31						
遠別農業		農 1	1	7						
6校	8	4	12	96						

### 宗谷学区高校配置計画

宗谷学区高校配置計画										
区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	613	524	542	528	544	541	575	495	▲ 118	▲ 33
対前年度増減		▲ 89	+ 18	▲ 14	+ 16	▲ 3	+ 34	▲ 80		
稚内市中卒者数	( 304 )	( 288 )	( 297 )	( 301 )	( 302 )	( 281 )	( 312 )	( 251 )	▲ 53	▲ 50
対前年度増減		▲ 16	+ 9	+ 4	+ 1	▲ 21	+ 31	▲ 61		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数 普通 職業 計			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
稚 内	4	商・ 看 2	6	35				○4年間で0～1学級相当の調整が必要 ○欠員の状況やこれまでの調整を踏まえた定員調整の検討が必要 ○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要		豊富のセンター校
地 豊 富	1		1	6						
浜 頓 別	2		2	34						
枝 幸	2		2	22						
利 尻	1	商 1	2	45						
礼 文	1		1	27						
6校	11	3	14	169						

### オホーツク中学区高校配置計画

区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27	
学区内中卒者数	1,516	1,504	1,430	1,407	1,360	1,329	1,363	1,236	▲ 280	▲ 171	
対前年度増減		▲ 12	▲ 74	▲ 23	▲ 47	▲ 31	+ 34	▲ 127			
北見市中卒者数	( 1,197 )	( 1,110 )	( 1,083 )	( 1,063 )	( 999 )	( 1,024 )	( 1,027 )	( 932 )	▲ 265	▲ 131	
対前年度増減		▲ 87	▲ 27	▲ 20	▲ 64	+ 25	+ 3	▲ 95			
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要	
	普通	職業	計					○4年間で3～4学級相当の調整が必要  ○欠員を生じている学校も多いことから、北見市内及び周辺町における学校・学科の配置のあり方を含めた再編整備や定員調整の検討が必要  ○小規模校において、中卒者数や欠員の状況を勘案し、学級減や再編整備を含めて配置のあり方の検討が必要  ○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については地域キャンパス校化の検討が必要  ○地域キャンパス校について、5月1日現在の第1学年の在籍者が20人未満となり、その後も生徒数の増が見込まれない場合は再編整備の検討が必要		常呂のセンター校	
北見北斗	6		6	-1							
単 北見柏陽	6		6	-1							
フ 北見緑陵	5		5	0	普▲1						
北見工業		工 4	4	9							
北見商業		商 4	4	-2							
置 戸		福 1	1	21							
総 留 辺 薬	2		2	16			総▲1				
佐 呂 間	2→1		1	11	普+1 (計画変更)						H24二次募集後学級減
地 常 呂	1		1	22							
訓 子 府	1		1	17							
地 津 別	1		1	8							
美 幌	2	農 2	4	58					津別のセンター校		
12校	26→ 25	11	36	158	普▲1 普+1		総▲1				

### オホーツク東学区高校配置計画

区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	577	632	588	563	592	555	564	538	▲ 39	▲ 25
対前年度増減		+ 55	▲ 44	▲ 25	+ 29	▲ 37	+ 9	▲ 26		
網走市中卒者数	( 310 )	( 348 )	( 333 )	( 318 )	( 331 )	( 333 )	( 322 )	( 308 )	▲ 2	▲ 10
対前年度増減		+ 38	▲ 15	▲ 15	+ 13	+ 2	▲ 11	▲ 14		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
単 網走南ヶ丘	5		5	12				○4年間で0～1学級相当の調整が必要 ○欠員の状況やこれまでの調整を踏まえた定員調整の検討が必要 ○小規模校において、中卒者数や欠員の状況を勘案し、学級減や再編整備を含めて配置のあり方の検討が必要 ○地域キャンパス校について、5月1日現在の第1学年の在籍者が20人未満となり、その後も生徒数の増が見込まれない場合は再編整備の検討が必要	清里のセンター校	
網走桂陽	2	商 2	4	25						
女 満 別	1		1	0	普+1 (計画変更)					
総 斜 里	3		3	34						
地 清 里	1		1	24						
小 清 水	1		1	22						
6校	13	2	15	117	普+1					

## オホーツク西学区高校配置計画

区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	604	635	607	532	569	529	504	538	▲ 66	+ 6
対前年度増減		+ 31	▲ 28	▲ 75	+ 37	▲ 40	▲ 25	+ 34		
紋別市中卒者数	( 193 )	( 199 )	( 203 )	( 169 )	( 186 )	( 177 )	( 159 )	( 171 )	▲ 22	+ 2
対前年度増減		+ 6	+ 4	▲ 34	+ 17	▲ 9	▲ 18	+ 12		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
単 遠 軽	5		5	-2				○4年間で0～1学級相当の調整が必要 ○小規模校において、中卒者数や欠員の状況を勘案し、学級減や再編整備を含めて配置のあり方の検討が必要 ○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要		興部のセンター校
紋 別	3	商・ 工 2	5	11						
地 興 部	1		1	14						
滝 上	1		1	21						
雄 武	1		1	11	普+1 (計画変更)					
中 高 湧 別	2		2	21						
6校	13	2	15	76	普+1					

### 十勝学区高校配置計画

区 分		H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数		3,434	3,176	3,433	3,195	3,197	3,121	3,073	3,094	▲ 340	▲ 101
対前年度増減			▲ 258	+ 257	▲ 238	+ 2	▲ 76	▲ 48	+ 21		
帯広市中卒者数		( 1,618 )	( 1,505 )	( 1,592 )	( 1,474 )	( 1,453 )	( 1,393 )	( 1,359 )	( 1,343 )	▲ 275	▲ 131
対前年度増減			▲ 113	+ 87	▲ 118	▲ 21	▲ 60	▲ 34	▲ 16		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数 普通 職業 計			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要	
単 帯広柏葉	7		7	0				○4年間で1～2学級相当の調整が必要			
単 帯広三条	7		7	0				○欠員の状況やこれまでの調整を踏まえた定員調整の検討が必要			
帯広緑陽	5		5	-1	普▲1			○小規模校において、中卒者数や欠員の状況を勘案し、学級減や再編整備を含めて配置のあり方の検討が必要			
帯広工業		工 4	4	-1				○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については地域キャンパス校化の検討が必要			
帯広農業		農 5	5	1							
(帯広農業)		(1)	(1)	(0)			(農▲1)				
*帯広南商業		商 5	5	0							
音 更	4		4	0			普通科単位制導入				
(音 更)		(1)	(1)	(15)			(農▲1)				
芽 室	4		4	0							
幕 別	2		2	34							
上 士 幌	2		2	3							
*士 幌		農 2	2	26							
総 清 水	4		4	29							
新 得	1		1	12							
中高 鹿 追	2		2	14							
更別農業		農 2	2	32							
大 樹	2		2	28							
中高 広 尾	2		2	32							
総 池 田	3→2		2	2						H24二次募集後学級減	
本 別	2		2	5							
足 寄	2		2	33							
20校	49→48	18	66	249	普▲1		(農▲2)				

### 釧路学区高校配置計画

区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	2,244	2,170	2,120	2,000	2,033	2,070	1,986	1,946	▲ 298	▲ 54
対前年度増減		▲ 74	▲ 50	▲ 120	+ 33	+ 37	▲ 84	▲ 40		
釧路市中卒者数	( 1,596 )	( 1,562 )	( 1,516 )	( 1,450 )	( 1,444 )	( 1,533 )	( 1,435 )	( 1,404 )	▲ 192	▲ 46
対前年度増減		▲ 34	▲ 46	▲ 66	▲ 6	+ 89	▲ 98	▲ 31		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数			H24 欠員	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
釧路湖陵	6		6	-1				○4年間で1～2学級相当の調整が必要 ○釧路市及び周辺町村を含めた学校・学科の配置のあり方の検討が必要		阿寒のセンター校
単 釧路江南	6		6	0						
釧路商業		商 5	5	7		商▲1				
釧路工業		工 6	6	1						
総 釧路明輝	5		5	-2						
フ *釧路北陽	6		6	0						
釧路東	4		4	18		普▲1				
阿寒	1		1	1	地域キャンパス校化					
白糠	3		3	15		普▲1				
総 標茶	3		3	32						
弟子屈	2		2	24						
厚岸翔洋	1	水 1	2	16						
*霧多布	2→1		1	4	普+1 (計画変更)					
13校	39→ 38	12	50	115	普+1	普▲1	商▲1 普▲1			



## 根室学区高校配置計画

区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H31-H24	H31-H27
学区内中卒者数	815	794	760	712	741	801	733	730	▲ 85	+ 18
対前年増減		▲ 21	▲ 34	▲ 48	+ 29	+ 60	▲ 68	▲ 3		
根室市中卒者数	( 279 )	( 278 )	( 266 )	( 209 )	( 267 )	( 252 )	( 218 )	( 209 )	▲ 70	± 0
対前年増減		▲ 1	▲ 12	▲ 57	+ 58	▲ 15	▲ 34	▲ 9		
学校名	平成24年度の状況 学科及び募集学級数				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28～31年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計	H24 欠員				○4年間で0～1学級相当の調整が必要 ○根室市内の再編について、新しいタイプの高校の設置を含めた検討が必要 ○欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要 ○地理的状况から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要		
根 室	3	商 2	5	2						
根 室 西	2		2	20						
別 海	3	農 1	4	53						
中 標 津	4	商 2	6	25						
標 津	2		2	19						
*中標津農業		農 2	2	46						
中高 羅 臼	2→1		1	2	普+1 (計画変更)				H24二次募集後学級減	
7校	16→ 15	7	22	167	普+1					

### 《全学区共通事項》

平成25年度以降の各通学区域における生徒の進路動向を見極めて、平成25年度以降毎年度再検討するとともに、新たに計画に反映させるものとする。